

業連だより

1月10日、業務連絡会議が開催された。森理事長から「韓国海軍のレーダー照射の件で感じるが、韓国は本当に近くて遠い国。日本人と価値観や判断基準が全く違う。それを理解したうえで交流する必要がある」との言葉があった。

協議事項として廣瀬総務委員長から31年度事業計画書の第2次案の方針、主要考慮事項について説明があった。現職幹部自衛官への理解の促進に配慮した事業展開をすること等が記述にくわえられた。各委員長から主要実施事項に関しそれぞれの具体的内容について説明があった。

財務委員長から平成31年度収支予算書第2次案の説明があった。全体として1割削減は達成できそう。必要なところには多少なりとも増額したものの来年はもう削減するところがなく、依然として厳しい状況であると述べられた。

報告事項として、山越事務局長から1月24日の内閣府による立入検査について、また大澤総務部長から賀詞交流会の成果について、報告があった。

加賀谷近現代史研究委員長から、2月23日のシンポジウムについて、講師等は高名な方たちで、期待に添える内容になるとの報告があった。